

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブルースカイ南浦和教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日		～ 2026年 1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年 11月 10日		～ 2026年 1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育・小集団療育を行い、お子さま一人ひとりに合わせた適切な支援を提供しています。 楽しみながら得意を伸ばし苦手を支援していきます。	・個別で行ったものを小集団で行い、得意なところを苦手などをまた、個別で行って自己肯定感や意欲の向上を意識しています。 ・一人ひとりの個別支援計画に合わせた療育を展開していきます。	・より専門性が上がるよう、研修会に参加したり、知識をつけたりと指導員のスキルアップを目指していきます。 ・理論に基づいたプログラムや支援を提供しながらも、楽しさを忘れずに継続して続けられるようにしていきます。 ・指導員同士で振り返りながら療育の質の向上に繋げていきます。
2	就学に向けて就学前集団をおこなうことで、小学校に対する不安を少しでも楽しみに変えていかれるように提供しています。	・休み時間の過ごし方や幼稚園や保育園と違う生活行動を少しでも慣れていくことで、不安にならずに「できる」「楽しい」に感じ取ってもらえるように意識して療育をおこなっています。	小学校に入学した後の子ども達の様子を聞くことで、更なる支援を次の子ども達に提供できるようにしていきます。
3	療育の様子を保護者様に直接見て頂くことで、お子様の頑張りや成長の様子を感じ取っていただけるようにしています。喜びや不安なことを保護者様と共有させていただいております。	・何か変わった様子があればお話を聞いたり積極的に保護者様と関わる努力をしています。 ・療育で行ったことを、保護者様のご要望により家でも継続して行えるようにやり方のポイントを説明させていただいています。	・保護者様がより気軽に、面談や相談の申し出が出来るような雰囲気作りをしています。ご自宅でも無理なくできる方法を提案できるように指導員同士、スキルアップし情報を共有していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが狭い。	建物の構造上どうしても狭くなってしまいます。	・運動のやり方を意識して行うことで、場所が狭くても効果的なやり方を工夫して引き続き行っていきます。
2	担当する指導員によって支援に差が出てしまう。	・担任制ではないため、指導員によってのお子様との相性や、対応の差が生じてしまう。 ・情報共有など行っているが、指導員ひとりひとりの対応や療育方法に差が出てしまう。	・指導員間で振り返りや情報共有を行いながら、職員同士で積極的に療育を見合うことで、お互いの療育を勉強しあっていきます
3	保育所等訪問支援を利用しているが、保育園とどのように連携しているかわからない。	訪問報告書等を園に渡していることを知らない保護者様が多くいたためだと考えられます。	・園と連携して行っているところをもう少し療育の中での説明で明確にしていくことで、三者一体となって取組んでいるところ安心してもらいます。